

令和 4 年 10 月 7 日 メルボルン交流抄

「東京オリンピック 2020 から羽ばたくメルボルン出身の 豪競泳界のホープ」

今回は昨年の東京オリンピックで銅メダルを取ったメルボルン出身の競泳選手マシュー・テンプル氏を紹介したいと思います。今年、8 月、マット・テンプル選手のお母さんから、「今週マットが久しぶりにメルボルンに戻ってくるのよ」との連絡が総領事館広報文化班に入りました。日本とのスポーツ交流に協力してくれているテンプルー家を公邸に招いて、本格的な和食料理を堪能してもらいました。テンプル選手は 23 歳。オーストラリアの競泳界の若手のホープで、2020 東京オリンピックで自由形リレー(100X4)、混合メドレーリレー(100X4)で銅メダルを取りました。又、先般のバーミンガムでのコモンウェルス・ゲームでは同種目でいずれも金メダルを取りました。2024 年パリ・オリンピックでは金メダルの期待が掛かっています。

昨年、総領事館の展示ブースにおいて、2020 年の東京オリンピックのテンプル選手のメダルと 1964 年の東京オリンピックのドーク選手(交流抄 2021 年 7 月 15 日をご覧ください)のメダルを並べて展示しました。いずれも 100mX4 の自由形のリレーでの銅メダルで、それが同時に見れるということで、この総領事館での展示は好評を博しました。

テンプル選手が東京に行ったときは水泳競技場と選手村の往復だけでしたが、公邸では大いに日本を楽しんでもらいました。日本にもまた行ってみたいとのこと。

公邸に招いた時は久しぶりの 3 週間の休暇に入ったところでした。完全にオフのモードで、この 3 週間は水泳もしないし、ジムでの筋肉トレーニングもやらないと聞いて驚きました。このオンとオフのメリハリの徹底、世界でトップを狙うアスリートは違うなと感じ入りました。

メルボルン出身の東京オリンピックのメダリストとして大いに羽ばたいてください。次回フランスでのオリンピックでの活躍を期待しています。

